

## 漁港・漁場・海岸の施設の設計にかかる相談事例

分類項目	外郭施設（防波堤）
相談タイトル	岩着構造物の安定性照査について
相談者	福島県
相談内容（メール質問）	<p>岩着の単塊構造物の場合、フラット型の場合は根入れ下端、オベリスク型の場合は根入れを考慮せずに地盤面を安定性照査の検討断面として良いか、それとも根入れ部を含めた検討をすべきか確認したい。</p>
相談会（メール質疑）の結果	<p>設置地盤が岩盤の場合、防波堤、係船岸のいずれにおいても、フラット型、オベリスク型ともに根入れ下端を検査断面として波圧等に対する安定性照査を行います（設計参考図書 p386）。</p> <p>施設が係船岸の場合は設計外力に残留水圧、土圧を考慮する必要がありますが、これらの作用についてもやはり根入れ下端とします（設計参考図書 p506）。なお、残留水圧の設定にあたっては、残留水位差 <math>hw</math> の設定において係数 <math>\alpha</math> を「排水が不良な構造（矢板式など）」の条件を用いることに注意してください（設計参考図書 p156）。</p> <p>その他、設計参考図書に記載はありませんが、以下の点に留意が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地盤が岩盤の場合、土圧はかかりませんが、「軟岩 1」では土砂を含む場合があるため注意してください。</li> <li>● オベリスク型では根入れ上部（AA 断面）でのせん断破壊について検討し、必要に応じて配筋を施します。</li> <li>● 岩盤の掘削作業では精度の確保が難しいことから掘削高さや基盤面の設定には作業性に配慮する必要があります。</li> </ul>
相談会（メール質疑）後の検討状況	